



2024年11月14日

各位

会社名 株式会社システムソフト  
代表者名 代表取締役社長 吉尾 春樹  
(コード番号 : 7527 東証スタンダード)  
問合せ先 管理本部長 富田 保徳  
TEL 092-732-1515

## 通期連結業績予想と実績差異並びに営業外費用、特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年11月10日に公表しました業績予想につきまして、2024年9月期の業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。また、2024年9月期(2023年10月1日~2024年9月30日)におきまして、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2024年9月期通期(2023年10月1日~2024年9月30日)

##### (1) 連結業績予想数値と実績の差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,000	百万円 130	百万円 110	百万円 65	円 銭 0.76
実績(B)	2,310	△415	△499	△1,531	△18.06
増減額(B-A)	△690	△545	△609	△1,596	
増減率(%)	△23.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年9月期)	3,390	155	135	93	1.10

##### (2) 差異の理由

2024年9月期第4四半期にて東日本システムソリューション部およびDXサービス推進部が行うソリューション事業の継承及び子会社株式の譲渡を行ったこと、開発案件の時期ずれ込みがあったことなどから、売上高については、2,310百万円(690百万円減少)、営業利益については、△415百万円(545百万円減少)となりました。

また、来期以降の事業展開を見据えて、今期において大きな事業再構築とそれに伴う資産等の見直しを実施いたしました。これらの結果、経常利益については、△499百万円(609百万円減少)、親会社株主に帰属する当期純利益については、△1,531百万円(1,596百万円減少)となりました。

## 2. 特別利益の計上

当社は、2024年6月3日に公表いたしました「会社分割(吸収分割)による当社の東日本システムソリューション部およびDXサービス推進部が行うソリューション事業の承継、連結子会社の異動(株式譲渡)及び特別利益の見込みに関するお知らせ」に記載のとおり、2024年7月8日に吸収分割及び連結子会社株式を譲渡いたしました。本吸収分割、譲渡に伴い2024年9月期連結会計期間(2023年10月1日～2024年9月30日)において子会社株式売却益を995百万円特別利益に計上いたしました。

また、2024年8月2日に公表いたしました「公開買付けへの応募及び特別利益の計上(見込み)に関するお知らせ」に記載の通り、公開買付けへ応募したため、投資有価証券売却益を103百万円特別利益に計上いたしました。

## 3. 営業外費用の計上

子会社 SS Technologies 株式会社にて、開発委託料に基づく返金を求めて相手側に訴訟提起しておりますが、訴訟の長期化による事業に与える影響もふまえ、総合的に検討した結果、貸倒引当金繰入額62百万円を計上いたしました。

## 4. 特別損失の計上

### (1) 減損損失

東日本システムソリューション部およびDXサービス推進部が行うソリューション事業の継承及び子会社株式の譲渡に伴い、付随する被合併法人 パワーテクノロジー株式会社ののれんについて、のれん残高として計上していた全額414百万円を減損損失計上いたしました。

被合併法人 fabbit 株式会社ののれんについて当連結会計期間において減損の要否の判定を行い、同事業にかかる業績が当初策定の計画を下回って推移し想定していた収益が見込めなくなったことを勘定し、のれん残高として計上していた全額1,106百万円、事業に係る固定資産27百万円を減損損失計上いたしました。

子会社 akibaco 株式会社ののれんについて当連結会計期間において減損の要否の判定を行い同事業にかかる業績が当初策定の計画を下回って推移し想定していた収益が見込めなくなったことを勘定し、のれん残高として計上していた全額145百万円、事業に係る固定資産14百万円を減損損失計上いたしました。

子会社 SS Technologies 株式会社にて開発運用していた人材提供をマッチングするシステムをfabbitシステムに付加して提供していましたが、限定したシステム上でのマッチング成立に需要がなかったため、サービス中止とし、固定資産41百万円を減損損失計上いたしました。

また、音楽フェスWEBシステムの開発を行っていましたが、コロナ流行によりフェスの開催が縮小したことで開発を中断し、再開を目指していましたが、環境の変化等もあり、開発中止を決定しソフトウェア仮勘定23百万円を減損損失計上いたしました。

当社、基幹システムリプレイスに伴い固定資産8百万円を減損損失として計上いたしました。

### (2) 投資有価証券評価損の計上

当社が保有するApaman Network 株式会社株式について2024年10月度に売却が確定していることにより、純資産価値での評価を行っていないことを考慮し、株式評価を行った結果、36百万円を投資有価証券評価損として計上いたしました。また、子会社 SS Technologies 株式会社にて保有する投資有価証券について簿価に比べ評価した結果、1百万円を投資有価証券評価損として計上いたしました。

(3) 関係会社株式売却損の計上

当社 孫会社である SystemSoft U.S.A Corporation は、海外事業の見直しにより 2024 年 9 月 30 日付で同社株式を株式会社エナジーコミュニケーションズへ譲渡した事に伴い、98 百万円を関係会社株式売却損として特別損失計上いたしました。

(4) 組織再編費用の計上

東日本システムソリューションおよび DX サービス推進部が行うソリューション事業部の継承及び子会社株式の譲渡に伴うアドバイザー費用等発生した事により、32 百万円を組織再編費用として特別損失計上いたしました。

以 上